

「JAバンク茨城子ども食堂応援成」活動報告書

活動名	生活困難な家庭や孤食の子どもが気軽に利用できる子ども食堂づくり
団体名	NPO 法人 izumi
この活動で取り組んだ地域の課題や背景（※）	町内会加入世帯の激減と子ども会消滅の日立市。 子育て世帯は核家族化の傾向にある。 保護者は、共働きが大半を占めてその負担は大きくなっている。 子どもは、学校、家庭以外の居場所が少なくなり、家族や先生以外の大人との交流の機会が減っている。 高齢者は、山側住宅に居住が多く、独居の方が多くみられる。 新型コロナウイルス感染拡大以降、地域のあらゆる方々の居場所が減少している。 そんな中で、子どもは多世代交流の経験を通して、よりひろい視野を拡げ、心豊かに育っていく。保護者は知恵や情報、心のゆとりを得られる。高齢者は孤立防止や生きがいにつながる。 そんな居場所づくりを目指していきたい。
この活動の目的（※）	地域のだれもが心豊かに暮らせるための見守り・アウトリーチ
活動の対象（※）	地域の子どもを中心にした人々
実施内容	【子ども食堂】 ・毎月2回 お弁当配布。(基本第1日曜日、第3水曜日) ・日立市大沼町で実施。大人300円、子ども100円、高齢者300円 (生活困窮、生活保護世帯には無料配布) ・宅食 (コロナ、インフルエンザ、自家用車がない家庭、独居の高齢者) ※お弁当配布ではあるが、受け渡しの際は会話をし、困ったことや心配事をお聞きしている。スタッフの中に有資格者がいるときは、相談にのっている。 【フードパントリー・フードドライブ】 ・企業様や地域の個人事業主様からご提供いただいた食品などの配布。 (今年度は、子ども食堂時に配布を行った。お米、牛乳、ラーメン、即席みそ汁、野菜、アルコール等)
活動実施後の成果	・子ども食堂 多子家庭のご利用が多く、お母さん方の口コミで様々なご家庭の利用が増えた。 お弁当お渡しの際に世間話から親しみが生まれて、家庭内の相談を受けることもあつ

※ 申請書から転記いただいて構いません。

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成」活動報告書

	た。内容的には子どもの不登校などが多く、保護者の苦悩がうかがわれた。 ほとんどのご家庭が子どもと一緒にきてくれるため、子どもたちの健康状態や心身の安定度なども感じられ、学校などの様子もわかり、進級や入学に伴う制服の支援や文房具用品についての提供もできた。夏休みには作文で当子ども食堂の事を書いてくれて、賞を取ったとの報告や感謝の言葉をいただいた。 ・フードパントリー 今年度は、特に別日を設けずにお弁当配布時に希望のご家庭に配布とした。 在庫管理や消費期限的にこのスタイルが良いと感じた。
今後の展望 や新たに 見えてきた 地域課題	・ SNS を見たひとり親世帯からのご利用があり、ワンオペ育児と仕事の両立の大変さを改めて感じた。子どもと同時に保護者へのサポートを心がけ、孤育てに陥ることのないよう見守りが大切だと思った。 ・ 子どもの不登校について、多く聞かれるようになった。理由は様々だが、受け入れの小中学校や通信制の高校について話を聴く中で、そういった学校の教育について知ることができた。そこを踏まえて悩みのあるご家庭への助言も行えた。今はどのご家庭も無事に進級、進学を行っている。 ・ 会食型の子ども食堂も今年度 2 回行ったが、お弁当が良いご家庭と会食型を気に入ってくれるご家庭それぞれなので、定期的に会食型を取り入れる事とした。
寄付者への 一言（※）	ご寄付いただきました皆様のおかげで、当子ども食堂を 1 年無事運営することができました。その中でたくさんのご家庭と繋がり、子どもたちや保護者との絆を深められたと思っています。物価高騰の時代、どうしても食材費が厳しい状況でしたが、質の良い物や国産素材を購入することができて安心してお弁当を提供できました。ありがとうございました。皆様が子ども食堂についてご理解をいただいたことに深く感謝いたします。
自己評価 (いずれかに ○を記入)	☒ A. 目標を超える成果を得ることができた ☐ B. ほぼ目標どおりの結果となった ☐ C. 残念ながら目標を達成できなかった ☐ D. その他 ()
自己評価で C を記入された 場合、その理由	

※ 欄の大きさは自由に変えていただいて結構ですが、全体で 2 ページ以内となるようご配慮ください。

※ 活動の様子がわかる写真数枚のデータを別途ご送付ください。

※ その他必要に応じて補足書類をご提出ください。